

# 県内初 大型電気バス2両導入

～守谷・取手地区にて6月1日運行開始～

災害時、電源供給車として使用可能



今回導入した一般路線用大型電気バス



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



関東鉄道株式会社(本社：茨城県土浦市 取締役社長：松上英一郎)では、茨城県内初となる大型路線バスタイプの電気バス(EVバス)を2両導入し、2023年6月1日(木)より守谷営業所管内(守谷市・取手市・つくばみらい市・坂東市・常総市など)で運行を開始いたします。

当社は、これまで環境に優しいバスの導入を進めており、2016年よりハイブリットバスを27両導入しているほか、2021年4月からは、つくばみらい市コミュニティバス「みらい号」でBYD製小型電気バス1両を導入しております。

今回導入するのは、BYD製K8型(大型電気バス・ノンステップバス)で、1回の充電による航続距離は約220km、災害時には電源供給車として活用できます。

バスのデザインは、デザイナーの蓮見孝氏(筑波大学名誉教授)、岸本健氏の両名が手がけ、「だれにでも受け入れられる、人と社会にやさしいバス」をテーマに、当社の現行路線バスの青色を基調にした配色を継承しながら、すっきりと明るい明緑色のエコロジーカラーのラインでまとめました。SDGs目標「7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「13. 気候変動に具体的な対策を」を念頭に、環境に配慮し、サステナブル(持続可能的)な未来社会を目指す姿勢を込めたデザインとしております。

当社では今後も、環境に配慮したエコロジーバスの導入を積極的に推進し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでまいります。

今回の電気バス導入に関する発表の詳細は次ページの通りです。

## 記

1. 運行開始日 2023年6月1日(木)
2. 導入車両数 2両
3. 導入営業所 守谷営業所
4. 運行地域 守谷営業所管内(守谷市・取手市・つくばみらい市・坂東市・常総市など)  
※電気バスは守谷営業所管内全域を運行いたします。車両の運用、運行時間についてのお問い合わせは回答いたしかねますので予めご了承ください。
5. 車両概要

車種	BYD製 K8型(大型EV路線バス・ノンステップバス)
車長	10.5m
車幅	2.5m
車高	3.4m
定員	81名(座席26+跳上席4+立席50+運転席1) 都市型仕様
航続距離	220km
充電時間	約6時間(フル充電を実施した場合)
6. EVバス新デザイン概要 ※写真はイメージで実際の車両とは一部異なります。  
デザイナー 蓮見 孝 氏 筑波大学名誉教授  
岸本 健 氏 デザイナー

コンセプト 「だれにでも受け入れられる、人と社会にやさしいバス」

### (1) 配色

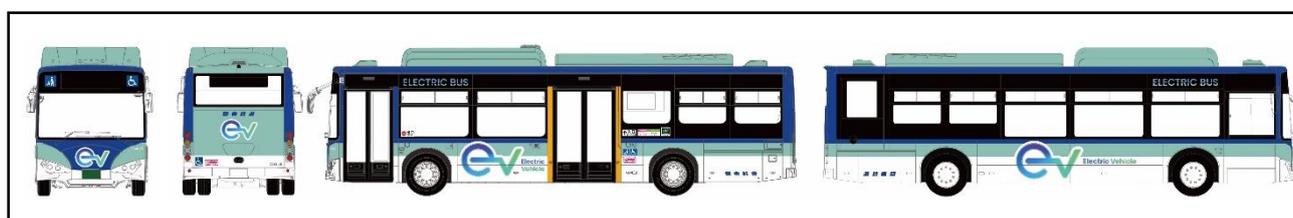
現行路線バスの青色を基調にした配色を継承しながら、すっきりと明るいエコロジーカラー(明緑色)のラインでまとめました。下部はスッキリした白色を使用しております。

### (2) ロゴマーク

EVのロゴは、電気の輝きをイメージしたカラフルな配色をしております。そのほか側面上部には「ELECTRIC BUS」、EVロゴの横には「Electric Vehicle」の文字が入っています。

### (3) ユニバーサルデザイン

当社の乗合路線バスは中乗りのため、中扉に両サイドに黄色を配色し乗車口が一目でわかるよう配慮しております。また、前面と後面の印象を大きく変え、バス停でお待ちのお客様からも進行方向が分かりやすくなっています。



以上